

## 活動報告

佐藤美樹



## 女性議員の

## 勉強会

昨年8月、「大分県・市町村女性議員ネットワーク」という団体を立ち上げ、初代代表に就任いたしました。

県下の女性議員、県議・市議、町議32人（県内女性議員の7割）が参加。党派を超え、地方議員として学び切磋琢磨する場です。

どこの議会でも女性には少数派で、孤軍奮闘しているケースが多くあります。4年前まで私も竹田市議会の中でひとり、女性議員として8年間活動してまいりました。政策を学び合い、またセクハラなど女性議員ならではの困りごとを相談し合う団体が女性議員ネットワークです。

他市の議会では主権者教育や市民との意見交換が活発に行われていること等を知り、多くの気づきを得ることができまます。新しい政策や議会運営についても意見を交わしています。

議員が視野を広げて学び合い、県内の各市町の議会が活性化することにより、竹田市も大分県も変わっていくと信じています。

## 議長任期を終えるにあたり

令和5年5月10日に議長に就任し、瞬く間の2年間でした。特にこの2年間は竹田市立こども診療所の休診という事態に対し、議論を続けてきました。議会では「令和6年度末の診療所再開を求める議決」が採択されました。ですが、土居市長と私共、現議員の任期中に解決に至らなかったことを誠に遺憾に思います。

この2年間の議会の取組として、温泉施設等調査特別委員会を立ち上げ、市長に経営改善の提言を行いました。議員定数の見直しや高校生議会の実施、議会BCP策定など、竹田市議会の新しい形を作って参りました。全議員のご協力により議会改革を進めることができました。

これからも市議会は、人口減少や時代の流れに合った形に進化し、一層、市民の代表である自覚と、市政への責任を持たなければなりません。

議長としての任期中に市政や議会運営について多くの市民からご意見をいただきました。議長室までお越しいただいたり、地域に出向いて意見交換を可能な

限りさせていただいています。

また、議会の進行について、議員と執行部のやり取りがしっかりと行なわれるよう丁寧な対応を心掛けたつもりですが、反省もあります。

4月6日には市長選挙・市議会議員選挙の告示が行われます。政策や竹田市の未来図が市民に見える、意義ある選挙であることを期待する次第です。結びに、竹田市の持続的発展と竹田市民の幸福を願い、私のご挨拶といたします。皆様、ありがとうございました。



佐藤 美樹

〒878-0026 竹田市大字飛田川 2112  
TEL 090-1165-4745 E-mail satomiki38@gmail.com

竹田市 佐藤みき

検索